



オープニングイベントでのテープカットの様子



移住者との意見交換会も開かれた

2/24 大船渡の暮らし、まずはここから
大船渡移住・定住相談センター「トモヅナ」オープン



キャッセン大船渡モール&パティオ内に、大船渡移住・定住相談センター「トモヅナ」がオープンしました。トモヅナは、大船渡市への移住に関する相談窓口として、住まい・仕事・暮らしなどのさまざまな相談に対応します。市の委託を受けて同センターを運営するNPO高田暮舎・大船渡担当理事の中野圭さんは「トモヅナを通じて、多くの人に大船渡に興味を持ってもらいたい。これからイベントなどの企画も行っていく」と、今後の取り組みに意欲を見せました。

2/25 綾里小学校「宇宙学校・おおふなと」
「小さな気球」に思いを乗せて

綾里小学校で、JAXA宇宙科学研究所主催の「宇宙学校・おおふなと」が開かれました。宇宙学校では、宇宙に関する授業や、「小さな気球」に見立てた風船の打ち上げ体験などが行われました。授業を受けた児童たちは、講師のJAXA教授に熱心に質問するなど、宇宙への関心の高さがうかがえました。また、前日24日には、市とJAXAの間で、宇宙科学の普及や理解促進、地域振興を目的とした「連携協力協定」が締結されました。



願い事を書いた風船を打ち上げる児童たち

2/28▶3/11 おおふなぼーとで防災ウィーク
学びと体験で防災意識を向上

(一社)大船渡市観光物産協会が主催する「おおふなぼーとで防災ウィーク」が、市防災観光交流センター（おおふなぼーと）で開催されました。毎年、東日本大震災が発生した3月11日に合わせて実施しているもので、今回は発生から1年の節目を迎えた大規模林野火災の写真展示も行われました。3月1日には「防災そばっちゃん」による地震体験のほか、消防・警察・自衛隊車両の展示や放水体験も実施。会場には多くの人々が訪れ、展示や体験を通して防災・減災への理解を深めていました。



消火器での消火を体験する子どもたち

2/17 気仙光陵支援学校「校外製品販売会」
生徒たちの力作がずらり

気仙光陵支援学校の中学部・高等部合同による「校外製品販売会」が、盛町のサン・リアショッピングセンターで開催されました。この販売会は、同校の活動を地域住民に広く知ってもらうため、毎年行われているものです。会場には、生徒たちがこの日のために心を込めて制作した木工品や手芸品、陶芸品などが並び、商品が売れるたびに「ありがとうございます」と生徒たちの元気な声が響き渡りました。



商品を手に笑顔をはかる生徒たち

2/20 越喜来小学校「郷土芸能引継発表会」
未来へつなぐ地域の伝統

越喜来小学校で、3～6年生による「郷土芸能引継発表会」が行われました。児童たちは、昨年から熱心に練習を重ねた甫嶺・浦浜・崎浜の各地域に伝わる郷土芸能を、家族や地域の人たちに披露。発表会の最後には、練習の指導に協力した地域の保存会の方々から「これからも伝統を引き継いでいってほしい」などの感想が述べられ、児童たちもこれまでの指導への感謝の気持ちを伝えていました。



各地域の郷土芸能を披露する児童たち

2/23 三陸・大船渡つばきまつり
初開催！コスプレ写真撮影会

世界の椿館・碁石で開催された三陸・大船渡つばきまつりの関連イベントとして、初の「コスプレ写真撮影会」が開催されました。当日は、館内に咲き誇る色とりどりのツバキを背景に、県内外から参加したコスプレイヤーやカメラ愛好者が思い思いの構図で撮影を楽しみました。華やかな衣装と鮮やかなツバキが織り成す光景は会場を彩り、訪れた人たちの目を楽しませていました。この他にもさまざまなイベントが行われ、まつり期間中の椿館は多くの来場者でにぎわいました。



館内のツバキで撮影を楽しむ参加者



おおふなとと記念撮影